



園長雑感

太田 す え

園長雑感というよりも、園長愚感ということばが適切かとも思われる内容になることをおことわりして、私の思ったこと、感じたこと、現在経営している状態などにふれてみたいと思います。

八幡市といえば、八幡製鉄所を思いうかべられると思いますが、北九州工業都市の中心をなしているといえる重工業の都市八幡は洞海湾に沿うて、重工業会社工場がひしめきあっているわけですが、この工業地帯に三十ばかりの公私立幼稚園と、十四・五の保育園とで幼児教育をひきうけているわけです。その中で六つの公立幼稚園は、他に類のない公民館と併設のケースをとり、市の東部に大蔵、槻田、高見、北部に枝光、西部に熊西、黒崎と六つあるわけです。私の経営している大蔵幼稚園は、八幡の市中心部よりやや南東にあた

る大蔵谷の一带、枝光区一部を地域環境として、煙の工場からは離れたた地型で、自然にも人為的にも申し分のない環境にあるといえると思います。

○幼児教育において最も大切なもの

私は幼児教育において最も大切なことは何かということを考え及ぼすとき、それはまず教師と、施設設備と、地域環境即社会環境、この三つが充分であるとき、立派な幼児が幼児として育つのではないかと私なりの考えをもつものであります。

○地域社会とのつながり

大蔵の幼児はこの自然に恵まれた地域環境の中で、一日一日をいかに育ちいかに過しているだろうか。地方の幼稚園は今後地域社会とのつながりを持ち、幼稚園は母親学園ともなって、地域社会の婦人たちとつながりを持

ちつつ教育にあたることが大切ではないでしょうか。地域の人々からも愛され理解されれば幼児教育の成果をあげることはできないのではないのでしょうか。地域社会の厚生、文化、とくに母親についての社会教育活動の中心となって、地域社会のための大きな教育活動を展開する場となることを忘れてはいけません。

こういった意味から八幡市の公民館と幼稚園の併設は、物心両面からあいまって、足らざるを補い、協力しつつ経営しているわけで、たとえば公民館行事の衛生的諸行事面（映画、幻灯、童話、劇化、紙芝居）ともつながりもち、地区民の衛生思想をたかめる一方また幼児を楽しい雰囲気の中で保育しているともいえます。（結核予防週間するときなど、幼稚園と公民館との合同行事で、九大医学部の先生の指導による映画のごとき母親指導がなされ、園医の先生よりは幼児に結核予防を童話によってなされる等多角形的連携を保ちながら社会教育と幼児教育とがこの併設の場においておし進められているといえます。また公民館に用件をもつ人で開館十時までに間があると、幼稚園児の行動なり教師の遊びの指導

等見学して、ほぼ笑んでいる状態などよく見かけます。こうしたとき、何も知らない幼稚園教育について、理解され、公民館に出入する人々とも、園長も先生方も親しみをもち、時にふれ折にふれことばも交されて、幼児期の教育の重要なことなどよく理解していただいています。

○幼児教育と母親教育とは平行に推進されねばならぬ

また二学期からの公民館講座では、こどもの心理という題目のもとに、大蔵一帯の母親が受講されていますが、これ等幼稚園児の母親が大部分を占めていて、私の希う母親学級が十週間にわたって行なわれるわけですが、こういった面にもたいへん幸せるわけです。幼児教育は幼児だけを教育すればこと足りるというのでなく、幼児と母親の平行教育がなされねばならない。幼稚園での教育が家庭の中まで浸透していくわけで、この点からもお母さん方の公民館における勉強は幼稚園にとってはプラスになるわけです。また幼稚園自体でも毎月一回母親の会をもち、この会には講師を招待して少しでも母親の幼児に対する理解を深め幼稚園教育に協力する事を願って

密接なる連携をとっているわけです。各月における母の会及びこれにつながる行事をひろって見ると下の表の様になります。

○父の会も必要

このほか六月と九月に父の会を致し、母親だけが理解しても父親の理解なくしてはとの声もあり、また理事会などでお父さんがたがときには父親も集めて幼稚園における子どもの状態を見せてほしいといった声もあったので、こうした試みをしてみました。九月八日のお父さん方の会はお月見の会のおきでしたので、子どもたちも夕方から登園して楽しいひとときを過しました。こうして幼児はだんだん理解されて、ある母親は、先生この頃あまり子どもを叱らなくなりましたと申してきました。ちょっとしたことでも父親に叱られて、おきゅうまで焼かれたことのある子どもは入園以来あまり先生にもなじまず、先生に笑いかけることなどなかったのに、二学期になって顔色がいきいきして明るくなってきました。これなどは父親の会をもってから急に変わってきたと思います。このように幼稚園で先生だけが愛情の全部をそそいでも、

月	日	題目
四	六	母の会準備会 (地区委員を もぎめる)
四	一	入園式
四	二五	幼児画について
五	二三	健康教育の面から(身体検査の結果についての所感)
六	二五	幼児の社会性について
七	一九	保育の心理 (連合後援会母の会でできく)
八	三	寄生虫について (幼児が健康に育つには)
八	三一	幼児教育懇談会
九	一八	子供の問題(両親教育) (自分ほそれをもと考えて処置しているか)
九	三	こどもの心理
九	一〇	九月三日開講式で一週に一回十週間にわたって受講
九	一七	費用は公民館が主体となって持つて頂きますが、大蔵幼稚園母の会研修費からも負担致します。
九	二四	
九	一	
九	八	
一〇	一五	
一〇	二二	
一〇	二九	
一一	五	
一一	二五	演題未定
一一	二五	幼児の生活指導(未定) 連合母の会、高見幼稚園に於て

一 二	一六 一六	子供を幸せにするには 梶田幼稚園に於て(東部三園連 合母の会)
二 二	二三 二三	保育参観(教育懇談会)
二 二	二五 二五	未定
二 二	二五 二五	幼小連絡について (一年入学心構え)

家庭環境が、両親が、協力していただけなかつたらどうしても子どもの状態は好転しないでしょう。幸にして父の会は大へんプラスしたことを私達は話しあっています。

私は幼稚園教育において最も大切なことを三つ申しましたが、これは私の過去五年間の体験で強く感じたことなのです。一年一年増すごとに施設の充実をみると、幼児もまた年年に豊かな情緒のもとに育まれていることはいなめない現実なのです。もちろんこの中であずかって力あるのは教師のあふれるごとき愛情とたゆまざる努力によるものと、園長として心から感謝いたしておりますが、また一面市長さんの幼児教育に理解深き面、教育委員会の方々の御指導の賜等何もかもが打ちそろって、今日の状態まで立ちいたることができたのです。でももう一つここいうなれば地域社会の援助、これだけは私の園ではみのがせない事実なのです。もちろん園児の両

親は後援会加入をして、毎月会費納入をしていただいています。過去三年にわたって地域の有志の方々が賛助会員になっていただいて、物心両面の援助をいただいたわけです。婦人会からはまた設備の面に援助を仰ぎ、本年度は鯉のぼりの一揃を購入していただくし、卒業入園に際してはお祝をいたなど、幼児は地域社会の中の愛情に育っているといえましょう。

○一日遊びの生活の調査

また幼児の一日の生活を調査してまとめて見ました。これによりますと、幼児は遊びの時間はほとんど戸外で遊んでいます。この遊びの場の調査をしたところが、自宅の近所や、友達の家、小公園、其の他ひろっぱ、神社境内といったところで、じゅうぶん種々の遊びをして楽しんでおり、とくに夏は暑いせいか夕食後のひとときまで、外でいろんなあそびをして涼味を味わっています。

○地域社会は幼児の育つ温床

このように幼児の社会は広範囲にわたる生活の分野がある。幼児の住む地域環境において幼児は日毎に育っているといっても言いすぎではないと思います。こうした観点からも

幼児の住む地域こそ、幼児を教育する温かい教育の場なくてはならない。幼児の育つ温床であってほしいといいたいです。

○地域社会のもつ使命は重大

この点から地域社会のもつ使命は重大であると思います。だからこそ幼稚園は地域社会とのつながりが最も大切で、幼児もまた幼児なみの知識をあたえ、理解するよう、地域社会の一員として協力できるような指導してやらねばならないと思います。

要するに八幡のこうした施設の特異性を私どもは大いに有効かつ適切に使用してこの妙味をうまくいかし、人と人との和によってこの同一建物の公民館幼稚園の併設をうまくいかしていくような努力が必要だと思えます。この稿をおわるに当り、この大蔵谷、秋雨につつまれた夜半に虫の音のすだくと共に心の中で私もおくすだきつぶやきぬ。

(八幡市立大蔵幼稚園長)

× × ×